

高等専門学校(高専)の卒業生の活躍の場が広がっている。高専出身者は全国に約50万人いるが、なかでも目を引くのは女性の卒業生の活躍だ。特に「男社会」と思われてきた領域で活躍する女性高専生が増えている。女性船長とプログラマーの仕事ぶりを追った。

なでしこ快走 未知の海で

日本郵船 実績重ね初の外航船長

東京エレク 製造データ一元管理へ



日本郵船初の女性船長、小西さんは鳥羽商船高専出身だ(写真上)。門宮さんは半導体「レシピ」のデータベース構築に関わる(同下、東京エレクトロン宮城)



来の夢は外航船の航海士」と思い定めた。船乗りになるには、商船高専の他に一般の高専から商船大学に進む道もある。小西さんは「専門的な勉強を早く始めた」と高専を志望した。船乗りの世界はまだまだ男社会だ。鳥羽商船は自宅から近かったが「父や学校の先生は最初『この子は何を言い出すのか』といぶかしんだ」と苦笑する。

「その船を代表して仕事をすることになる」と身を引き締める。「私も船長になれた。女子でも船の仕事を好きなら、ぜひ突き詰めてほしい」と後輩らにエールを送る。

高専時代は「まず入学式から驚かされた」。新入生に歓迎の意を表すための行事が好きななら、ぜひ突き詰めてほしい」と後輩らにエールを送る。

東京エレク OBも負けじ



舟木さんは海外メーカーの窓口エンジニアとして半導体生産を支える(東京エレクトロン宮城)

男性高専生も負けじない。東京エレクトロンの舟木章さん(33)もその一人だ。

舟木さんは顧客である半導体メーカーの窓口となつて自社製品の設置や稼働を支援するフィールドエンジニア(FE)だ。顧客の要望にこたえるために社内の人だ。

「その船を代表して仕事をすることになる」と身を引き締める。「私も船長になれた。女子でも船の仕事を好きなら、ぜひ突き詰めてほしい」と後輩らにエールを送る。

半導体の黒子役 「ロボコン」生かす

舟木さんは海外メーカーの窓口エンジニアとして半導体生産を支える(東京エレクトロン宮城)

高専ロボコンではトラブルが頻発するが「原因となつて製造難度が高まっている。顧客のニーズを読み取って適切な提案をするには、知識はもちろんコミュニケーション力や英語力も求められる。競合メーカーとの競争も激しく、顧客と意思疎通ができないとビジネス機会を失いかねない。装置に何かしらの不具合

高専ロボコンではトラブルが頻発するが「原因となつて製造難度が高まっている。顧客のニーズを読み取って適切な提案をするには、知識はもちろんコミュニケーション力や英語力も求められる。競合メーカーとの競争も激しく、顧客と意思疎通ができないとビジネス機会を失いかねない。装置に何かしらの不具合